sanwa company

システムキッチン

●エレバート

取付・設置説明書　12-00003-01

取付・設置をされる方へのお願い

■取付・設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■本体や機器に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無いように保管し、取付・設置完了後、お客様に渡してください。

1 安全上のご注意

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

⚠注意　禁止　実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度。

- ステンレス製ワークトップを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。（切断面に触ると、ケガをする恐れがあります）
- ウォールユニットの設置は、建築壁の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行ってください。（落下してケガをする恐れがあります）
- 電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。（火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります）
- 組込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。（思わぬ事故や故障の原因になることがあります）
- レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください（詳しくは、所轄の消防署へ確認ください）（火災の原因になることがあります）

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

- 棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。（棚板がはずれ収納物が落下してけがをする恐れがあります）
- 防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。（水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐る恐れがあります
- 排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。（排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります）
- 取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。（使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります）
- 取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使ってください。（誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります）
- 絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。（落下して、けがの原因となります）

3 設置手順　3-2

■ベースユニットの取付け

1. ベースユニットの壁取付用・バックパネル取付用下穴加工
ベースユニットの背板に壁（バックパネル）取付用ねじの下穴（φ6）をあけてください。（右図をご参照ください）
※アイランドタイプの場合はキャビネットの分割位置とパネルの分割位置がセットによって異なるのでバックパネルが確実に固定できるように固定穴を追加してください。

2. 配管・配線取り出し穴加工
ベースユニットの底板点検口又は背板に必要に応じた配管・配線の取り出し穴をあけてください。

3. ベースユニットの仮設置・ユニット同士の連結
図面に基づき、ユニットを仮設置し、中央のユニットの両側板の連結用の下穴から付属の連結ねじで固定してください。
※水準器等で水平レベルを確認して連結を行ってください。

4. ベースユニットの取付け
【壁取付けタイプの場合】
ベースユニットの水平レベルを確認して、付属の取付ねじで壁面へ固定してください。
（配線、配管への干渉がないことを確認してから固定してください）
【アイランドタイプの場合】
アイランドキャビネット底面前後にある固定桟に下穴をあけてから付属の取付ねじで床面へ固定してください。
（配線、配管への干渉がないことを確認してから固定してください）

5. 化粧横桟の取付け
ベースキャビネット上部の切り欠き部分に化粧横桟をはめ込み、キャビネットの横桟裏面から付属ビスで固定してください。

6. ステンレス巾木の取付け
巾木に同梱されている施工説明書をよくお読みいただき、手順通り取付けを行ってください。
※正しい手順で取付けを行わないと、巾木の反り、外れの原因となります

7. バックパネルの取付け　（アイランドタイプの場合のみ）
アイランドタイプの場合は、ベースユニットの背板に取り付けられている壁固定用木桟を上下とも取り外してから背板へ取付用の下穴をあけてください。先に加工した背板の下穴からバックパネルに付属の取付ねじで固定してください。
※ねじの長さを確認して固定を行ってください。

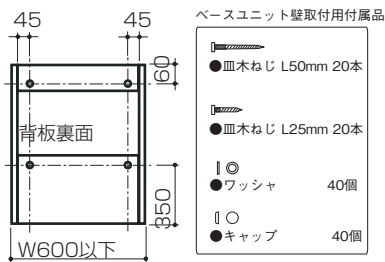
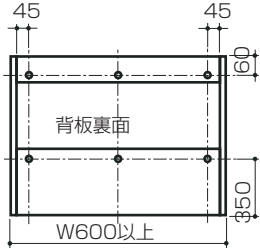
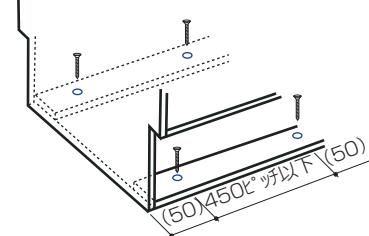
45　45　60
背板裏面
350
W600以下

ベースユニット壁取付用付属品

●皿木ねじ L50mm 20本	
●皿木ねじ L25mm 20本	
●ワッシャ	40個
●キャップ	40個

ベースユニットアイランド設置取付用付属品

●皿木ねじ L50mm 24本		●皿木ねじ L25mm 38本	
●ワッシャ	62個	●キャップ	62個

- フロアユニットは、必ず壁面にねじで固定してください。
  アイランドタイプの場合は床面へねじで固定してください。
  ※床固定の場合は床面に設置されている配線や配管その他の設備に固定ビスが干渉しないことを事前に確認してください。
- 取付け時には引出しや扉を取り外して作業を行ってください。
  また引出しや扉に汚れや傷が付かないように養生をして保管してください。
- 引出しを持つ場合は必ず引出しの側板部分を持ってください。
  （左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります）

2 施工前の確認

1. 荷物の受取り
車上渡しとなります。また重量がある製品や荷姿の大きな製品がありますので受取りの準備をお願い致します。
（製品の品質確保のため、搬入・搬出は必ず手運びで行ってください）

2. 部材の確認
荷受した商品はご発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。

3. 施工現場の確認
設備図面通りに、一次工事ができているか以下の項目について、確認してください。
・設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
（水平・垂直・角度等の精度が出ていないと、仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。）
・窓枠や建具の位置と寸法
・取付木の位置及び寸法（厚さ45mm以上、幅100㎜以上の強度のある硬い木材）
・必要な給湯水管、排水管、ガス配管、電気配線の位置と接続方法
・ガス種、電圧（100V・200V）、周波数
・レンジフード用の開口の位置及び寸法
・火災予防条例に準拠したレンジフード、コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法
製品の搬入経路の確認を行ってください。

- ウォールユニットを取り付ける取付木（厚さ45mm以上、幅100㎜以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。（取付木に充分なネジ保持力がないと、使用中にキャビネットが落下しケガをする恐れがあります）

3 設置手順　3-1

■ウォールユニット・レンジフードの取付け（ウォールタイプの場合）

1. 取付用墨出し
仕上り床面を基準に、ウォールユニットの下端（または上端）の位置に墨出しします。

2. ウォールユニットの壁固定用下穴加工
ウォールユニットの背板に壁固定用ねじの下穴（φ6）をあけてください。
（右図をご参照ください）

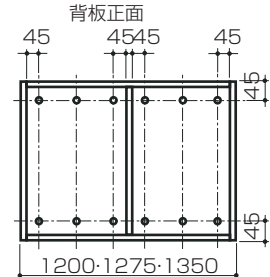
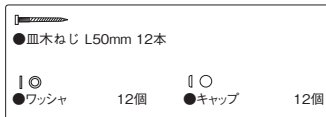
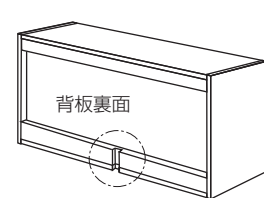
3. ウォールユニットの棚下灯の配線用の切欠き加工（棚下灯設置の場合）
背板の下側芯材と底板を切り欠いてください。（右図をご参照ください）

4. ウォールユニットの取付け
ウォールユニットを取付用の墨に合わせて付属の取付ねじで壁面へ固定してください。

5. レンジフードの取付け
レンジフードに付属の取付・設置説明書に基づき取付けてください。

【壁面固定用下穴位置】
背板正面
45　4545　45
45
45
1200・1275・1350

吊戸棚取付用付属品

●皿木ねじ L50mm 12本			
●ワッシャ	12個	●キャップ	12個

3 設置手順　3-3

■ワークトップの取付け

1. ワークトップの仮設置
ベースユニットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベースユニットのを前後左右調節して所定の位置に設置ください。

2. ワークトップの取付け
ベースユニットに仮設置したワークトップの裏面にワークトップ用の固定ねじを使用してベースユニットの内側のワークトップ固定金具から固定をします。

カウンター固定用付属品

●丸木ねじ L12mm 16本

- ステンレスワークトップの端部でケガをしないように注意してください。
- ステンレスワークトップを持ち運ぶ時は必ず立てて持ち運んでください。

3 設置手順　3-4

■水栓金具・排水器具・機器類の取付け

1. 水栓金具の取付け
水栓金具に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。

2. 排水器具の取付け
排水器具は右図の順序で取り付けてください。ロックナットは専用の締付工具（別売）を使用し、その他のナットは手で漏水のないように確実に固定してください。

3. 各種機器の取付け
各種機器に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。

4 施工後の調整・確認

■施工後の調整

1. 扉・引出しの調整
施工完了後は、扉のガタツキ、緩み、傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は付属の取扱説明書の丁番・レール・他金物の調整方法の要領で調整をしてください。

■施工後の確認

1. 施工後のクリーニング
ユニットや扉のホコリ・汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

2. 水廻りの取付状況の再確認
水栓金具、排水金具が確実に取付されていることを確認してください。

3. 機器類の試運転
機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検『試運転』を行ってください。

システムキッチン

●エレバート

取扱説明書

●安全上のご注意について

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

注意　禁止　実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

- 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項をお守りください。(使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。)
- 扉が傾いたり、がたついた時は蝶番のネジを締め直してください。(破損やケガをする恐れがあります。)
- 扉やハンドルにぶら下がったり、大きく開けすぎたりしないでください。(破損やケガをする恐れがあります。)
- てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さないでください。(排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。)
- 固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしないでください。(水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。)
- 調理機器の使用後やお出掛けの時は、スイッチが「切」になっていることを確かめてください。(周囲の可燃物に着荷し、火災の原因になることがあります。)
- 調理機器の上や周りに燃えるものを絶対に置かないでください。(スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。)
- 加熱機器の使用中、使用後に機器周辺には直接手を触れないでください。(やけどをする恐れがあります。)
- 包丁差しの固定ねじがゆるんでがたつきが発生した時は、ねじをしめ直してください。(包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。)
- 改造しないでください。(思わぬ事故の原因になることがあります。)
- 鍋や鉄板を使うときは、ワークトップにはみださないでください。(ワークトップが加熱し、火災の恐れがあります。)
- 扉開閉時に蝶番にさわらないでください。(蝶番に指を挟んでケガをする恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。)
- レンジフード、キャビネット、天板に頭をぶつけないようご注意ください。(ケガをする恐れがあります。)
- オーブントースターなど、キャビネット内部で電気製品のご使用はおやめください。(製品の故障や火災の原因になります。)
- 扉の開閉時手足をぶつけないでください。(指を挟んでケガをする恐れがあります。)
- 混合水栓のご使用の際、必ず水から出してください。(やけどをする恐れがあります。)
- 棚板や、引出しに規定重量以上の物を入れないでください。　製品の歪み・破損・落下の原因となります。耐荷重については下記の重量をお守りください。

棚板(底板)1枚につき　　8kgまで
引出し一箇所につき　　12kgまで
キャビネットひとつにつき 最大45kgまで

1 キッチンの名称

◎エレバート　アイランドタイプ　　※図は2700サイズ

2 各部の調整

●引出しレールの調整

●ウォールキャビネットフラップ金具の調整

バネの調整　扉を約90°開いて自然と上がったり、下がったりする場合はドライバーでバネの力を調整してください。

調整バネを右へ回すと強くなり、左へ回すと弱くなります。

扉の調整　扉の上下・左右前後の調整ができます。

3 お手入れ方法

■ワークトップのお手入れ方法

布またはスポンジに台所中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとってください。普段からかたづけが済んだら、乾いた布で水滴をきれいにふきとってください。ひどい汚れや落ちにくい汚れは台所用液体クレンザー(ジフ等)をつけて磨いてください。

■シンクのお手入れ方法

布またはスポンジに台所中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとってください。普段からかたづけが済んだら、乾いた布で水滴をきれいにふきとってください。水滴が乾燥すると、水アカが残ります。中性洗剤では除去できません。普段のお手入れとしてシンク用スポンジを使い、よく洗い流してから乾いた布で空拭きしてください。

- ● 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザー類を使用しないでください。(キズがつく恐れがあります。)
- ● 熱したフライパン・なべ・火のついた煙草などの熱いものをワークトップに直接置かないでください。(変色・変形の原因となります。)
- ● 鍋など硬く重いものをワークトップに落としたり、引きずったりしないでください。(キズ、割れ、へこみがつく恐れがあります。)
- ● 包丁やナイフなどの刃物を、直接ワークトップ上で使用しないでください。(キズがつく恐れがあります。)
- ● 酸性やアルカリ性の薬品をかけたり流したりしないでください。ワークトップをいためる原因になります。(漂白剤、塩酸、硝酸、タイル洗浄剤、排水ぬめり取りなど)
- ● ぬれたままの包丁・缶詰などの金属製品を長時間のせたままにしないでください。(サビが移る『もらいサビ』がでる恐れがあります。)

- ● 油・煮こぼれ・調味料の汚れはすぐに水拭きしてください。そのままにするとサビ・変色の原因になります。

■排水トラップのお手入れ方法

ゴミカゴやフタ、ワンなどは、こまめにお湯か中性洗剤で洗ってください。シンクの排水が詰まったり、流れにくくなったときは、ワンを外して掃除してください。それでも流れが悪い場合は、排水パイプ用の薬剤をご使用ください。ご使用する際は薬剤の説明書をよく読んでからご使用ください。

排水プレート
浅型ゴミカゴ
ワン（防臭器）
排水トラップ本体
パッキン
ロックナット

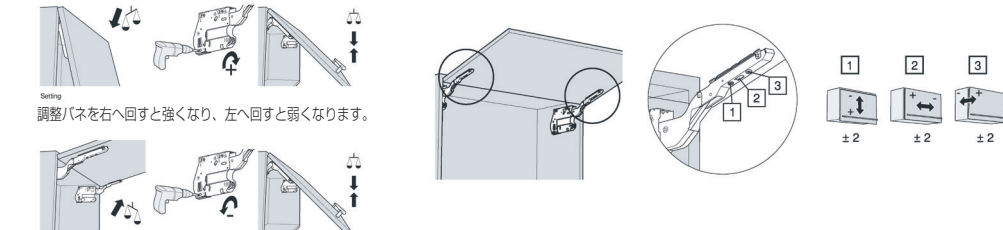
- ● ゴミはこまめに捨ててください。(悪臭の発生や水詰まりの恐れがあります。)
- ● 冬期寒冷地でトラップ部の中の水が凍ってしまう場合には、ワンを外しておいてください。(変形や破損の恐れがあります。)

- ● 酸性やアルカリ性の薬品をかけたり流したりしないでください。ワークトップをいためる原因になります。(漂白剤、塩酸、硝酸、タイル洗浄剤、排水ぬめり取りなど)

■キャビネット・扉のお手入れ方法

汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布で空拭きしてください。隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。

- ● 扉やキャビネットが汚れた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ● 扉やキャビネットに水などが付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取ってください。(キャビネットや扉をいためる恐れがあります)

- ● 扉やキャビネットに付着した油汚れ等を取り除く際は、強くこすらないでください。(キズがついたり、光沢が変化する恐れがあります)

4 アフターサービス

保証書

品　名	エレバート		
保証期間	期間：お買い上げ日から３年	お客様	お名前
お買い上げ日	年　　月　　日		ご住所
工事店名	店名 電話		電話

※上記はお客様でご記入をお願い致します。（サービスを依頼される際にお役に立ちます）

１．正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には無償にて修理、または部品送付いたします。
２．保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。
　ア）使用上の誤り及び不当な修理や設置による故障及び損傷。
　イ）正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障及び損傷。
　ウ）弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障及び損傷。
　エ）弊社以外の組立設置において、組立設置資料通りに取付を行わなかった場合や、分解・改造などに起因する不具合。
　オ）設置床面の凸凹に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業（扉の丁番調整等）。
　カ）本来の目的以外の用途や一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用した場合の故障。
　キ）お買上げ後の取付場所の移動による故障及び損傷。
　ク）天災地変等不可抗力による故障及び損傷。
　ケ）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) 及び外部ノイズなどに起因する不具合。
　コ）消耗部品（照明の管球・グローランプ・パッキン・カートリッジ等）の劣化に伴う故障及び損傷。
　サ）建築躯体の変形 (強度不足・ゆがみ）等製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げの色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の不具合。
　シ）砂やゴミ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合。
　ス）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境、公害に起因する不具合。
　セ）温泉水・井戸水など水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合。
　ソ）汚れやメッキ部品の錆、カビ等、通常のお手入れ不足による不具合。
　タ）ねずみ、昆虫など動物の行為に起因する不具合。
　チ）凍結による故障及び損傷。
　ツ）材料の性質上生じるもの。（木・石などの自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った製品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど）
　テ）タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ等）の使用により発生した損傷。
　ト）硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷。
　ナ）建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの。
　ニ）仕上げキズ等で引き渡し時にお申し出がなかったもの。
　ヌ）保証書の提示が無い場合。
　ネ）保証書にご購入者様情報、お買上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句の書き替えられた場合。
　ノ）離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費。
３．本書は日本国内にて有効です。
４．本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保存して下さい。

廃棄処分について

廃棄の処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

エレバートのホルムアルデヒド発散区分

1	製造企業名	株式会社サンワカンパニー
2	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ、下地部分共にF☆☆☆☆
3	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による
4	製造番号及び年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。
5	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	パーティクルボード　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆

●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.
●お客様相談センター　受付時間:土・日・祝日、夏期休業、年末年始を除く　9:00〜17:30　TEL:0120-468-838　FAX:0120-382-096

TSSA-09042